

令和 2 年度 学校関係者評価報告書

大阪市立橘小学校 学校協議会

1 総括についての評価

本年度の学校の自己評価結果は概ね妥当である。昨年度より全体的に児童が明るく元気になっている。あいさつも、学校の取り組みによりする児童が増えてきている。これは、とても素晴らしいことであり、今後も期待する。登校時間が短くなり、異学年で仲良く登校している姿を見る。また、ホームページで学校のことを地域に発信し、開かれた学校づくりを進めてきたことは評価できる。

2 年度目標（全市共通・学校園）ごとの評価

年度目標：子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現

全市共通目標（小・中学校）

○令和 2 年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を 95%以上にする。

○令和 2 年度の小学校学力経年調査・校内調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を 80%以上にする。

○令和 2 年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を、前年度より減少させる。

○令和 2 年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童の割合を、前年度より減少させる。

学校の年度目標

○令和 2 年度の学校アンケートにおいて、「学校は楽しい」の項目について、肯定的な回答をする児童の割合を 90%以上にする。

○令和 2 年度の学校アンケートにおいて、「自分を大切にしている」の項目について、肯定的な回答をする児童の割合を 90%以上にする。

○令和 2 年度の学校アンケートにおいて、「すすんであいさつをする」の項目について、肯定的な回答をする児童の割合を 83%以上にする。

○令和 2 年度の学校アンケートにおいて、「学校は保護者や地域の願いを受け止めて、教育活動を進めている」の項目について、肯定的な回答をする保護者の割合を 85%以上にする。

・達成状況の評価に関しては妥当である。具体的な取組の積み重ねによって、成果が表れており、今後の課題も明確になっている。また、児童アンケート・保護者アンケートを実施し、丁寧に分析し説明されている。すすんであいさつする児童が増え、明るく元気になってきている。

年度目標：心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上

全市共通目標(小・中学校)

○令和２年度の小学校学力経年調査における標準化得点を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。

○令和２年度の小学校学力経年調査における正答率が市平均の７割に満たない児童の割合を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より１ポイント減少させる。

○令和２年度の小学校学力経年調査における正答率が市平均を２割以上上回る児童の割合を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より１ポイント増加させる。

○令和２年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、前年度より増加させる。

○令和２年度の全国学力・運動能力、運動習慣調査において、特に課題である（立ち幅跳び、ソフトボール投げ）の平均の記録を、前年度より向上させる。

学校の年度目標

○令和２年度の学校アンケートにおいて、「授業はわかりやすい」の項目について、肯定的な回答をする児童の割合を９０％以上にする。

○令和２年度の学校アンケートにおいて、「健康な生活を心がけている」の項目について、肯定的な回答をする児童の割合を８５％以上にする。

・達成状況の評価に関しては妥当である。全国体力・運動能力、運動習慣調査は学校独自で昨年度との比較をし、丁寧に分析されていた。また、課題と改善点が明らかされているので、今後の取組に生かせることが望める。

3 今後の学校園の運営についての意見

- ・学校は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、様々な対応を実施され大変だったと思う。その中でも、保護者や地域の声を聞いて運営を行っていた。
- ・子どもたちは、地域でも支えていく必要がある。互いにしっかりと連携していかなければならない。
- ・ホームページ等で情報をしっかりと発信している。今後も続けてほしい。
- ・これまでの学校の取組を更に充実させながら、保護者と協力しながら行い、落ち着いた学校運営を行ってほしい。